

激変の時代こそ、さらなる成長の好機に

代表取締役

光川 幹夫氏



アートグループ

鯖江市上河端町6-1-33

今年8月に創業30周年を迎える。「挑戦の10年、安定を図る10年を経て、飛躍の10年間を実現できた。ここからさらに拡大路線を継続したい」。その言葉通り、昨夏の決算では売り上げ、利益ともに過去最高を記録。昨年スタートした3カ年の中期経営計画では、最終年度に社員約550人、売上高100億円の達成を掲げ、着実に歩みを進める。持株会社アートホールディングスを軸に、SII（システムインテグレーション）、RFID（ICタグ）、ソフトウェア設

計・開発、人材派遣などの事業を展開。IoT、AI、キャッシュレス化、第5世代（5G）移動通信システムなどテクノロジと社会が激変する中、今後数年にわたり当社のサービス需要が見込まれる大きなチャンス。従来事業の選択と集中を進めつつ、RPAやクラウドなど新分野への拡大も走りながら模索する。サービスソリューション分野では、都市圏企業の開発を請け負うニアシア事業の拡大を柱に、行政や大手企業のレガシーシステムの再構築を推

進。また、「フロー型ビジネスからストック型への移行を進め足場を固めたい」とし、RFID事業の充実、カンバン管理、IoT等のプラットフォーム製品「おくだけポード」の拡販に注力する。残業減や人事制度改革など社員の雇用環境改善は常に優先課題だ。昨年12月に新設したイノベーションセンターは、新たな事業アイデアを生む拠点とする一方で、社員の福利厚生向上のための機能も充実させた。「IT業界は結局のところ人材がすべて。多様な働き方から生まれる自由な発想こそ、未来へのアクセラになる」と力を込める。